

福岡の“いま”を伝える地域経済情報誌

令和2年1月1日発行 第377号（毎月1日発行） 平成30年1月18日第3種郵便物承認

1 2020
月号

ふくおか経済

FUKUOKI
vol.377

表紙の人

池辺和弘

九州電力社長

九州の成長とともに発展する九電グループへ

PR企画

福岡三社詣

2020年新春
誌上名刺交歓

縦力特集

リスク乗り越え「成長都市」の本領発揮へ
トップ148人に聞く 2020年の戦略



本社を拡張移転、 事業拡大へ

(株)匠

後藤 元晴 社長

大分県宇佐市出身。1968年3月21
日生まれ。51歳。東海大学通信工
学科卒。趣味はゴルフ



フエススペースなどを設け、従業員が働きやすい環境を整備した。同社は2015年に設立。搬送ロボットの企画から開発、製造、アフターメンテナンスまで対応し、これまでFA業界のみならず、商業施設や一般家庭まで幅広い環境に適応できるロボットを提案してきた。「完成品は長時間かけて性能を評価し、仕様が十分に満たしていること、安全性が保たれていることなど数百にも及ぶ検査項目をパスしたもののだけ販売する」と説明する。昨年11月から大分県内の実証実験施設が本格稼働し、来春には初の国産自動搬送ロボット「TAシリーズ」をリリース予定という。「今後も人とロボットの共生、共働社会の実現に貢献していきたい」と力を込めた。

自律型搬送ロボットメーカーの(株)匠(たくみ・後藤元晴社長)は10月20日、本社を北九州市八幡西区黒崎から福岡市中央区長浜2丁目に拡張移転した。後藤社長は「3年以内に従業員数を現在の30人から100人に増やしたい」と展望する。

場所は「長浜」交差点西側の「東芝福岡ビル」6階。フロアは旧本社の3倍となる約300㎡になった。博多区東比恵のロボット開発拠点「福岡R&Dセンター」も新本社に統合したことで業務効率化を図るほか、カ



新本社には従業員用のカフェスペースを設けた